

Turn Knowledge into Action & Go Global!

大学で学ぶ英語は、世界と社会への架け橋です

みなさんがこれから大学で学ぶ英語は、今までの点数を取るための受験英語とは大きく異なり、次のような目標を持って行われます。

- ・国際的なコミュニケーションの輪を広げる
- ・就職のチャンスを広げ、さらに就職後のビジネスの機会を広げる



大学で専門科目を学ぶとき、そして卒業して社会人になったとき、主要な国際語である英語を使ったコミュニケーションの力が求められます。近年は企業の国際化が進み、英語を社内の公用語にする企業も出てきました。あなたは、今の自分の英語で意見を世界の人々に伝えたり、ビジネスを行うことができますか？大学の英語の授業では、世界と社会への架け橋となる、英語でのコミュニケーション能力を高めることを目指します。

レベルとニーズに合わせた英語カリキュラム

英語の必修の授業は、1年次は週2コマ、2年次は週1コマで、それに加えて選択科目の英語の授業を履修することができます。1年次に履修する英語(a)は「読む+書く」を中心に、英語(b)は「聞く+話す」を中心に、それぞれ英語のコミュニケーション能力を伸ばす授業です。2年次に履修する英語(レギュラー・クラスだと「英語(a)Ⅲ」「英語(a)Ⅳ」)では、読む、書く、話す、聞くの4技能を総合的に伸ばします。1クラスあたり、1年次の半分の15人程度の少人数で、より密度の濃い学習ができます。

新入生は授業開始に先立って全員プレイスメント・テストを受け、その結果に応じてクラス分けされます。また秋には全員TOEICを受け、そのスコアをもとに2年次の必修英語のクラス分けが行われます。

英語のクラスにはレギュラー・クラス、インテンシブ・クラス、留学クラスの3種類があり、大半の学生はレギュラー・クラスを履修することになりますが、意欲があり、入学時のプレイスメント・テストおよび別に行われる選抜テストで高スコアを取った学生は、毎週より多く、より集中的に英語を学べるインテンシブ・クラスあるいは留学クラスに入ることができます。

商学部の英語カリキュラムでは、各人が自分に適したレベルのクラスで授業を受けることができ、また2年次に必修科目としての英語のコマ数が少なくなるため、2年次以降は各人のニー

ズに合わせてより柔軟に履修科目を選択することができます。必修の英語と共に興味に合った選択科目の英語を履修したり、また2年次では専門科目の授業や資格試験の勉強に集中的に取り組み、3年次以降に選択英語を履修することも可能です。自分の関心や必要に合わせて4年間で英語の力を伸ばすことができるシステムになっています。

国際的な活躍のために英語を磨く、インテンシブ・クラス

商学部ではインテンシブ・クラスという上級英語クラスを設置し、「将来国際的な場で英語を使って活躍したい」という学生の英語総合力を伸ばす機会を設けています。このクラスは1年次は週3コマ、2年次は週2コマで、レギュラー・クラスよりも1コマずつ多い授業で集中的に学びます。また少数精鋭のクラスで1年次から定員15人です。IELTS受験の対策を重視する留学クラスと異なり、より一般的な英語力の向上を目指します。時事問題や評論、学術的な文章など、高度あるいは複雑な内容の英文を読み理解する力、自分の意見などを筋道を立てて書く力、身近な内容についてディスカッションし自分の意見を発言する力、ビジュアルエイドを使ったプレゼンテーションをする力などを養います。なお授業は原則的にすべて英語で行い、ネイティブスピーカーと日本人の教員が担当します。



少人数で和気あいあいとした雰囲気の中、コミュニケーションを重視した総合的な英語運用能力を伸ばすことができます。1年次、2年次の2年間を通して継続的な努力が求められるクラスですが、最後までやり通すと英語力が飛躍的に向上するのは間違いありません。海外帰国生はもちろん、英語運用能力特別入試で入学した学生、受験勉強で磨いた英語の語彙力や文法力を活かして、もっと英語を上達させたい学生には、ぜひチャレンジして欲しいクラスです。

留学の夢をかなえる留学クラス

留学クラスは、英語圏の大学（あるいは大学付属機関）への長期留学（1年間または1セメスター）を実現するためのクラスです。1年次では週3コマ、2年次では週2コマの授業を履修します。クラス定員は15名、担当者は日本人教員とネイティブスピーカーの教員です。日本人教員は海外の長期留学の経験を持ち、国際経験豊かな者が担当します。



1年次はIELTSの指導を中心とした授業を行います。IELTSは留学に必要なアカデミックな場面での英語コミュニケーション能力を総合的に計るテストで、大学の講義に近いレベルのリスニングやリーディングを行い、それに関連する小論文を書いたりスピーキングをするなど、難易度の高いタスクが課されます。IELTSを一度も受験したことがない人でも、留学に必要なスコアを取得できるようにするため、少人数クラスできめ細かい指導を行います。

2年次では、1年次に取得した英語能力をさらに伸ばすため、授業内容は、留学直前の学生に必要な英語の力を、集中した授業時間・内容で高めるものになっています。

留学クラスは、留学を夢で終わらせず、グローバルな人材として世界で活躍したい学生を全力で応援するクラスです。みなさんの積極的なチャレンジを期待しています！

必修以外の英語～目的と関心に応じて選べるさまざまなクラス～

必修の英語の授業に加えて、さらに英語を勉強したいという学生には、英語 (e1) や英語 (e2) の授業が用意されています。

英語 (e1) は英語運用能力をさらに伸ばしたい人に向けたクラスで、1 セメスターにつき 1 単位が付与されます。4 技能 (Listening, Reading, Writing, Speaking) のうち 1 ～ 2 の技能に絞ってみっちり鍛えたい人や、資格試験でのスコアアップを望む人などのニーズに応える授業を行います。「Listening」「Writing」「Oral Communication」「Pronunciation」「TOEIC」などのクラスがあります。

英語 (e2) は「英語を」勉強するだけでなく、「英語で」何かを勉強することを目的にしています。1 セメスターにつき 2 単位が付与されます。「English through Literature」「Consumer Culture in America」「Consumer Culture in Britain」などのクラスがあります。

自分の目的と関心に応じて、必修科目の英語と合わせて積極的に受講してください。

留学クラス以外でも、もちろん留学できます！

留学クラス以外の学生でも、もちろん海外留学をすることは可能です。ぜひチャレンジしてみてください。中央大学の留学制度については、39 ページに詳細な説明があります。中央大学の留学制度を利用し、1 年間あるいは 1 セメスター (学期) の留学をした学生は、留学先での修得単位が 40 単位まで (1 セメスター留学の場合は 20 単位まで) 認められます。したがって、卒業を延期することなく 4 年間で大学を卒業することも可能です。中央大学の短期留学では、夏季休暇中に協定校 (2026 年現在英語圏はアメリカ 1 校、イギリス 1 校、オーストラリア校 1 校) に留学し、大学で受講した事前授業 (または事前・事後研修) と併せて 4 単位もしくは 2 単位を修得することができます (夏季短期留学プログラム)。



春季短期留学プログラムでは、春季休暇中に協定校 (2026 年現在英語圏はアメリカ 1 校、オーストラリア 2 校) に留学し、留学前後に大学で受講する研修と併せて 2 単位取得できます。

また、商学部留学プログラム (カナダ、フィリピンの大学への 1 セメスター留学) では、最大 14 単位認定されます。

長期留学の場合、留学先で専門科目を履修することが目標ですから、授業を受けるために必要な英語力を身につけておかなくてはなりません。商学部では原則として、TOEFL 68 点または IELTS 5.5 以上を取得してから留学してほしいと考えています。留学クラスではないけれど、少しでも留学に興味のある人は、英語の教員や国際センター (グローバル館 2F)、商学部事務室にぜひ積極的に問い合わせ、春と秋に行われる留学フェアや説明会等に参加してください。国際センターは敷居が高い、という人はヒルトップ (食堂や生協のあるビル) 2F にある異文化交流ラウンジ G スクエアのイベントをチェックしてみましょう。

※ G スクエアの活動・SNS 紹介はこちらから

また、商学部の留学経験者による留学サポート団体 C-pass では、個別相談にも応じてくれます。詳しくは、49 ページをご覧ください。



インテンシブ・クラス

—目標に向けて英語を集中的に学ぶ—

「インテンシブ・クラス」は、英語学習への高い意欲を持ち、大学在学中または卒業後の各自の目標に向けて英語を集中的に学ぶことを希望する方にお勧めするクラスです。

このクラスは 1・2 年次の英語必修科目の中の 1 クラスとして組み込まれています。レギュラー・クラスとの違いの一つは、1 年次は週 3 コマ、2 年次は週 2 コマとそれぞれ 1 コマ多い授業を集中的に受講することです。もう一つの特徴は、1 年次から定員 15 名の少数精鋭クラスで学ぶことです。留学クラスとの違いは、留学クラスでは IELTS (International English Language Testing System) のスコアを伸ばすための指導が行われるのに対して、インテンシブ・クラスでは、より一般的な英語力向上のための指導が行われることです。時事問題や評論、学術的な文章など、高度あるいは複雑な内容の英文を読み理解する力、自分の意見などを筋道を立てて書く力、身近な内容についてディスカッションし自分の意見を発言する力、ビジュアルエイドを使ったプレゼンテーションをする力などを養います。2 年間の総取得単位数は 10 単位で、必修 6 単位を上回る 4 単位は選択科目として卒業に必要な 130 単位に組み込まれます。

履修は希望に基づき選抜を行って決定します。1 年次の履修者は、全新入生が受験するコンピューターベースのクラス分けテストに加え、インテンシブ・クラス希望者を対象に実施する筆記試験によって決定します。習熟度に応じてインテンシブ・クラス 1 組とインテンシブ・クラス 2 組のいずれかに所属します。授業はネイティブスピーカーと日本人の教員が担当し、原則的にすべて英語で行われます（1 組は原則的に英語のみ、2 組は場合により日本語を使用することもあります）。2 年次の履修者は、全 1 年生が受験する TOEIC IP テストに加えて各クラスでの成績に基づいて決定し、インテンシブ・クラス 1 組と 2 組あるいはレギュラー・クラスとの入れ替えが行われることもあります。

2 年間を通じて努力を継続することが求められるクラスですが、教員と少人数の履修者が一体となった和気あいあいとした雰囲気の中で学び、最後までやり通した学生には英語力の飛躍的向上が約束されるクラスです。海外帰国生はもちろん、英語運用能力特別入試で入学した学生、受験勉強で磨いた英語の語彙力や文法力を活かして、もっと英語を上達させたい学生には、ぜひチャレンジして欲しいクラスです。

クラスの様子と学生の声

“I like this class because all my classmates have high English proficiency.”

“This class has students with different backgrounds. I think it is fun and encourages me to study harder.”

“I could learn aspects of English that I hadn’t studied at high school.”

“This class has a lot of homework. You have to have a strong will.”



留学(SA)クラス

ーグローバル・マインドセットを醸成するー

商学部では、国際社会に相応しいグローバルな人材を養成する独自の「商学部留学プログラム」を設置しています。「留学クラス」は、大学在学中に英語圏への長期留学を希望する方にお勧めするクラスです。このクラスは1・2年次の英語必修科目の中の1クラスとして組み込まれており、1年次は週3コマ、2年次は週2コマと、レギュラー・クラスより週1コマずつ授業を多く受けます。履修者（入学時に希望者を対象に選抜試験を実施）に対し、2年次秋学期からの留学を前提に、留学要件を満たせるよう準備指導を行います。具体的には、授業の中で、英語圏の大学への長期留学に必要なIELTS (International English Language Testing System) のスコアを伸ばす指導を中心に行います。定員15名の少人数クラスで、ネイティブスピーカー、日本人の教員による授業です。

留学先での取得単位は、帰国後に学修成果を確認したうえで商学部の科目として認定されます。単位認定は、留学先での授業時間・修得単位数・成績、帰国後のプレゼンテーションやレポート等の内容を考慮して行います。留学クラスの履修者は、担当教員の推薦状があれば、商学部の1セメスター留学に応募ができます。詳細は、入学後のガイダンス等でご確認ください。

留学に向けてしっかりと準備したうえで、目的やレベルに応じた留学を実現し、外国語の実践的なコミュニケーション能力はもちろんのこと、問題解決力や他者の文化、価値観、立場を理解できる“グローバル・マインドセット”を養うことができます。将来、商学部の関連分野でグローバルな活躍をするためには、まず、外国語での実践的なコミュニケーション力が必要なのです！

商学部の英語留学の制度

学部では、英語で学ぶための様々な留学の機会が用意されています。

(1) 長期留学（交換留学・ISEP・認定留学）

中央大学の協定校や ISEP の加盟校への留学制度や自分で留学先を決め本学より認定してもらう認定留学制度を利用します。単位認定は1年間で最大40単位、半期（セメスター）で最大20単位です。

【英語で授業を受けられる学生交換実施協定校（2026年度派遣交換留学募集実績）】

アメリカ17校、イギリス7校、オーストラリア8校、アイルランド2校、シンガポール2校、カナダ2校、フィリピン1校、スウェーデン2校、デンマーク2校、タイ4校、マレーシア5校、香港（中国）3校、マルタ1校、トルコ1校、ベルギー2校、ドイツ1校、インドネシア3校、フランス3校、オランダ2校、ポーランド2校、クロアチア1校、イタリア3校、スイス1校、インド2校、カンボジア1校、ベトナム1校

(2) 1セメスター留学（商学部留学プログラム）

トロント大学（カナダ）にて、Business Englishなどを学ぶコース、セント・ラ・サール大学（フィリピン）の附属語学学校である LSLC (Language Skills Learning Center) にて英語力を伸ばします。単位認定は最大14単位まで、期間は約4ヶ月になります。

(3) 短期留学プログラム

事前授業または事前事後研修を履修し、夏季または春季に留学することで、単位を取得できます（夏季4単位または2単位、春季2単位）。留学期間は夏季休暇中（8月～9月）または春季休暇中（2～3月）の3～4週間程度になります。

【英語圏の実施校（2025年度募集）】

夏季：カリフォルニア大学デイヴィス校（アメリカ）、シェフィールド大学（イギリス）、スウィンバーン工科大学（オーストラリア）

春季：ハワイ大学マノア校（アメリカ）、スウィンバーン工科大学（オーストラリア）、オークランド大学（ニュージーランド）、フリンダース大学（オーストラリア）

(4) FGLP (Future Global Leaders Program)

アメリカの大学サンディエゴ校に3週間留学する春季短期留学プログラムです。現地大学院の専任教員による国際経済、政治、法律、リーダーシップ、マネジメント分野のグローバルなトピックを受講することができます。

よくある質問

Q：英語が苦手で、大学の授業についていけるか不安です。

A：心配ありません。必修英語のクラスはレベル毎に分けられています。同じ習熟度の学生とともに、レベルに適した教材で学ぶことができます。また、クラス分けテストの結果、特に英語が苦手であると判断された場合は、より少人数のクラスで指導を受けることができます。2年次になると、全員が15名前後の少人数クラスに所属し、一層丁寧な指導を受けるようになります。

Q：1年次と2年次では同じクラスを履修しなければいけませんか。クラスの変更はできますか。

A：クラス変更は可能です。1年次秋に、2年次の希望クラスについてアンケートを取り、団体受験する TOEIC IP テストのスコアと授業の成績に基づき、2年次の所属クラスを決定します。

Q：TOEIC のスコアを伸ばしたいと思っています。どう勉強すればいいですか？

A：1年次は、留学クラスを除く全てのクラスで TOEIC の指導を行います。さらに意欲あるみなさんのために、選択科目である 英語 (e1) にも TOEIC 対策クラスを設けています。また、国際センターでも TOEIC 対策講座が年間を通じて開講されています。

Q：在学中に留学をしたいと思っています。どのような準備をしたらよいでしょうか。

A：TOEFL や IELTS のスコアを伸ばすには時間がかかるので、留学を検討している場合には、入学後すぐに勉強を始めてください。また、GPA（全科目の成績平均）も重要なので、英語だけでなく全ての授業で努力することが大切です。さらに、プログラム科目グローバル・プロフェッショナル・プログラムでは、様々な地域の社会や文化について学ぶことができます。

Q：留学クラスのほかに、IELTS を学ぶことのできるクラスはありますか。

A：国際センターが、TOEFL・IELTS 講座を開講しています。他の学部の学生とともに学ぶ全学の講座となります。詳しくは国際センターの HP を参照してください。

Q：留学クラスやインテンシブ・クラスで1年次に6単位を取得すると、必修英語の6単位を満たしたことになりますか。2年次の英語は履修しなくても卒業できるのでしょうか。

A：なりません。卒業に必要な必修英語の単位は、1年次に4単位、2年次に2単位です。1年次に取得した必修分を上回る2単位は、選択科目の単位として認定されます。詳細は、『商学部履修要項』を参照してください。